

Background

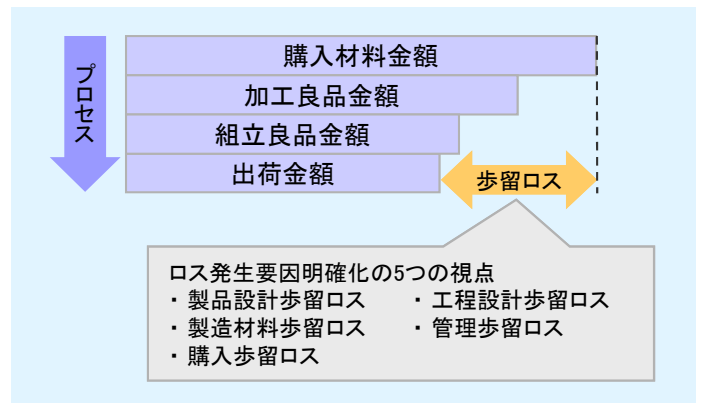
製造コストにおける材料費の比率は一般的に高く、素材の市況高騰など製造業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。そのような環境下で企業がコスト競争力を高めるためには、材料費の低減が必須の課題となっています。

材料費のコストダウンには単価の削減と使用量の削減の2つの領域がありますが、製造部門を中心とした材料生産性向上(歩留向上)は従来より企業の最重要課題です。当然このテーマはどの企業でも推進されていると思いますが、現状の活動では大きな成果を得られないという実態も見受けられます。JMACでは材料生産性向上において大きな成果を得るためのポイントをおさえ、それぞれの企業の特性に応じた推進のご支援を行います。

Viewpoint

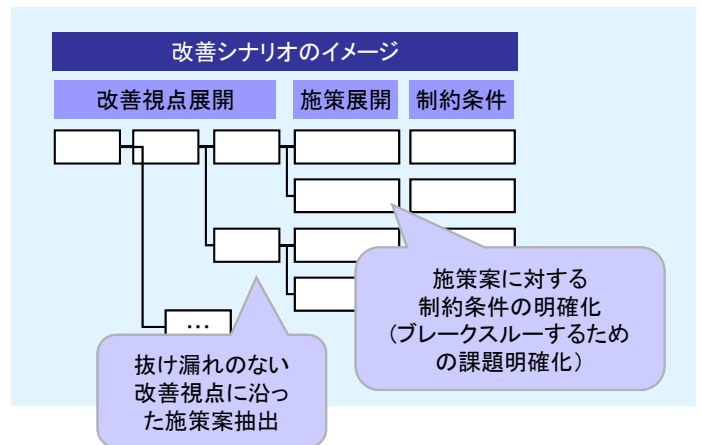
改善を進めるための歩留ロスの構造化

原材料の購入から客先に届けるまでを含めた全てのプロセスを明確にし、各プロセスで発生しているロスを定量化します。定量化する際のポイントは2つです。1つは重量や個数など現場での管理単位で測定したものを、金額換算することです。金額換算することにより、複数材料や全工程を統合した指標となるので、重点化が可能となります。2つめはロスの発生要因を改善する責任部署が分かるように明確化することです。



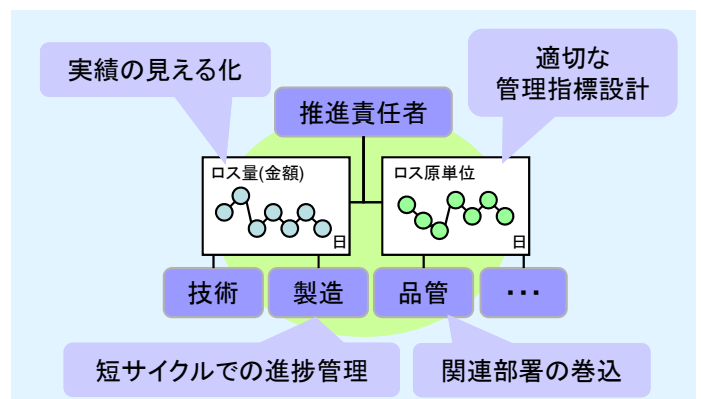
制約をブレイクスルーする改善シナリオの考え方

ロス別に施策を検討をする際は大きな成果が出るように従来の制約をブレイクスルーする検討が行わなければなりません。改善視点が不足しているために制約と決めつけていたり、漠然と思い込みで制約ととらえていたりする場合があります。その制約をブレイクスルーするためには、抜け漏れのない改善視点を展開し、その視点に基づいて施策案を抽出することが必要です。また、施策案に対する制約条件の明確化が大きな成果を創出するためのポイントになります。



成果につなげるマネジメントの仕組み

材料生産性向上(歩留向上)の実行管理は、改善責任部署別に実績数値が把握できることがポイントになります。ロスの内容を踏まえ、絶対量で管理するのか、原単位管理を行うのかを決定します。このことにより生産量によるロス率の違いを加味した管理が可能となります。また施策実行管理については、関連部署のメンバーが集まり、短サイクル(週次)で活動のサイクルが回る仕組みをつくることで、部門間の調整や早期に成果の見える改善が可能となります。



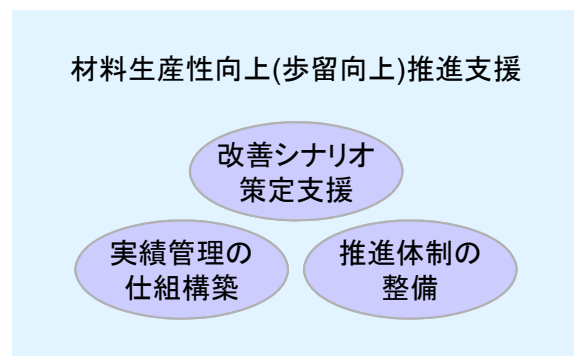
Our Practice

化学 A社	背景: 主要素材の市況悪化 テーマ: 主要原材料の歩留向上	・成果 歩留率86%→92%(6%向上)
食品 B社	背景: 原材料費のコストダウン テーマ: 主要原材料の歩留向上	・成果 製造歩留ロス50%削減

Service Menu

JMACではお客様のご希望と特性にあわせて、以下のような材料生産性向上推進支援をいたします。

- ◆改善シナリオ策定支援
 - ・ロスの構造化・体系化
 - ・改善視点の展開
 - ・改善シナリオ策定
- ◆改善の実行支援
 - ・実績管理の仕組み構築
 - ・推進体制の整備



Consulting Step

